



## 市町村担当者会ありがとうございました

梅雨が明け、暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

過日は、生涯学習・社会教育、生涯スポーツ振興、社会人権教育の3分野の担当者会を開催した所、ご多用の中、ご参加いただきありがとうございました。

市町村を超えてお互いの取組から学びあったり、情報交換からアイデアを共有できたりした時間にしていただけたのではないかと思います。以下、担当者会を通して各分野でお伝えしたいことをそれぞれの担当指導主事がまとめましたので、ご覧いただけると幸いです。

### <社会教育>

生涯学習・社会教育担当者会では、市町村の事業計画について情報交換を行いました。情報交換会のテーマは、『若年層の社会教育事業への参加』『講座参加者の減少とその対策』です。みんなでグループをつくり、特徴的な事業内容を中心にテーマに沿って話し合いました。社会教育

事業への参加者が減少していることや固定化されていることはどの市町村も課題と感じています。参加者の感想には「要望に合わせた社会教育事業を考えないといけないという話が参考になった」「社会教育事業の広報について参考になる話があったので、自分の村でも広報の仕方を検討したい」などがあり、市町村の社会教育事業の課題解決に向けて充実した話し合いができました。

様々な立場の方に社会教育事業に参加してもらえるように、市町村で工夫がなされています。市町村同士で情報を共有することは社会教育事業を行っていく上で重要であると思います。各地域には生涯学習・社会教育の場を必要としている方がたくさんいます。地域の学びの場やつながりの場を、共につくっていきましょう。



## <生涯スポーツ振興>

情報交換の中で「様々なことが転換の時を迎えている時代の中、スポーツも例外ではないのではないか」と語られたことが今も印象に残っています。

中学校部活動の新たな地域クラブへの移行、地区対抗の村民運動会から自由参加のスポーツフェスティバルへの転換 等、これまで当たり前だった日本のスポーツ環境が難しくなっていることは、担当者みなさんが一番感じられていることでしょう。

これまで通りが通用しなくなっている中で、担当者会で実践発表していただいた白馬村さんの取組のように、各市町村では、地域住民が楽しめるように、様々な工夫を凝らしたスポーツ事業が今年度も展開されています。

この日、みなさんで行った「バブルボールを使った運動遊び」では、汗だくになって体を動かしました。夢中になり過ぎて、冷や冷やした場面もありましたが・・・。

アンケートには、「各担当者と交流したり、その人の人柄が見えたり、これがスポーツの良さだなあと改めて感じました」という感想がありました。私も同様のことを感じました。日本のスポーツ環境が変化を求められている時に来ているのは確かです。しかし、スポーツをする良さは、普遍的なものなのではないでしょうか。

今年度も担当者みなさんや地域みなさんと共に、スポーツの良さを味わえるように活動していきます！何かありましたら、いつでもご相談ください！



## <社会人権教育>

今年度の計画されている市町村の社会人権事業について情報交換を行い、地域の実態をもとに本年度特に力を入れていきたいことを中心にお伝えいただきました。情報交換会の後には、「講師などの情報交換ができてよかった」、「他市町村の話聞くことで、良い例を取り入れようとなるし、悩みが同じことも多いので良い機会となった」との声が聞かれました。市町村にはそれぞれの地域の魅力や特徴があります。それを生かしながら、さまざまな立場の方の人権が尊重される地域づくりを進めていただき感謝しています。

また引き続き行われた市町村人権教育連絡協議会では、学校の人権教育担当職員と市町村の社会人権担当者が顔を合わせ、事業説明や人権教育推進計画について情報交換を行いました。「いつも近くにいるのにゆっくりお話しできなかったのが、すごく有意義な時間でした」との声が聞かれました。人権を尊重する『地域づくり』を大切に考え、学校と地域社会とが一体となり人権教育を推進していくことがこれからさらに大事になってくると思います。学社連携が進むことで人にやさしいよりよい地域づくりに繋げてほしいと思います。

